

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392100067
事業所名	グループホーム むらさき麦の郷

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2) 町内会に加入し、行事には入居者と共に積極的に参加している。地区防災訓練では地域の方と連携したり、老人会や小学生、保育園児とも交流がある。学区福祉委員会や多彩なボランティアの訪問の他、ホーム内に設置された足湯に地域住民が利用する等良好な関係にある。また、訪問者の質問には丁寧に対応し、認知症や制度について、理解を深めるよう努めている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3) 会議は年6回偶数月に開催し、メンバーは地区総代、老人会会長、地域包括支援センター職員、民生委員、入居者、家族で構成され、議題はホームの活動、運営状況等の報告と質疑応答である。総代から地域の情報を、老人会会長から会の行事予定などを、地域包括支援センターからは研修や制度等について説明があり、ホーム運営に反映させている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4) 行政とは事務連絡などで訪れた際に、積極的に情報交換を行っている。担当者とは相談しやすい関係にある。市の介護相談員の訪問が定期的であり、福祉の専門校の実習生を受け入れる等連携を深めている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6) 家族会を開催し行事への参加も多い。家族の訪問が多く、その際に意見や要望を聴き取り、ホームの運営に反映させている。また、かわら版を定期的に発行し、行事等を写真で伝え入居者のアルバムを作成している。担当職員の一言を添えてプレゼントすることで、家族の安心と信頼を得るよう努めている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○			

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。